

平沢小学校 今年度の取組

平沢小学校では、今年度の学校教育目標「自ら考え、自ら学び、自らかかわる子ども」の達成に向け、『みどりの教育』『ふるさと教育』『ことばの教育』を柱に据え、教育活動に取り組んでいます。

1 『ことばの教育』の実際

5月、図書室に新しい書架がやってきました。後ろの壁面の書架が統一され、とても見やすくなりました。木のにおいも読書心をくすぐります。図書支援員を中心に行っている本のレイアウトや本の紹介コーナーも、スペースに余裕が生まれたことで、今まで以上に創意工夫できるようになりました。子どもたちにも好評で、図書利用が増えました。



休み時間に、図書支援員やALTが読み聞かせをする時には、たくさんの子どもたちが図書室に集まります。子どもたちがもっと本好きになることを目指し、図書館教育をさらに充実させていきたいと考えています。



2 『みどりの教育』の実際

今年度、みどりの教育の中心に「FORプロジェクト」を据えて活動しています。このプロジェクトは、森林（Forest）と海（Ocean）とそれをつなぐ川（River）に注目し、子どもたちに地球規模の視点に立って環境にかかわる活動をさせ、それをおして、自ら考え、学び、かかわり、生きる力を身につけた子どもを育成しようとするものです。

この活動の一つに、学校林活動があります。本校には、学校林があり、6年生が枝打ちや下草刈りを行っています。

今年は、農林高校の生徒と一緒に活動しました。はじめに、高校生から林業のことについて教えてもらいました。

その後、一緒に活動しました。今回は、高校生がチェーンソーで間伐し、それを枝打ちして1mの長さに切る作業をしました。一緒に活動しているうちに年の差などはなくなり、協力して作業を進めることができました。



活動の二つ目は、学校間交流です。学区を流れる川の下流に位置する海の学校の子どもたちと交流しました。その際、プレゼントとして持参したのが、学校林で間伐した木材で作ったコースターと、つたで作ったリースです。



交流会では、学校林活動で学んだこと、活動後に調べたことをまとめ、発表しました。海の学校の友達は、真剣に発表を聞いていて、苦心して準備してよかったと思いました。その後、スポーツで交流する時間もあり、新しい友達と心から打ち解けることができました。



三つ目の活動は、緑の少年団活動です。緑の少年団は、5・6年生全員が所属し、緑化活動に取り組んでいます。その活動の一つとして、今年も県みどりの少年団大会に参加しました。児童代表が参加し、今回は、津波で被害を受けた海岸の松林再生プロジェクトを行いました。塩害に耐性のあるクロマツの植樹、来年度の植樹に向けた種植えをしました。

